



■ センサー、カメラアイ等

■ 胸部等ダークグレー部

■ ライトグレー部

■ 本体等レッド部

□ 本体等ホワイト部

■ 武器等

COLOR GUIDE

● 本体等ホワイト部:

ホワイト(100%)
+ ニューラルグレー(少量)

● 本体等レッド部:

モンザレッド(40%)
+ オレンジイエロー(40%)
+ ホワイト(20%)
+ ブラック(極少量)

● 胸部等ダークグレー部:

ブラック(50%)
+ ネービーブルー(50%)

● ライトグレー部:

ホワイト(40%)
+ すみれ色(30%)
+ ミディアムブルー(30%)

● 武器等:

ねずみ色(80%)
+ ブラック(20%)

● センサー、カメラアイ等:

パールグリーン(50%)
+ エメラルドグリーン(50%)

※ よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
※ 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※ カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ACTION DISPLAY & MARKING SEAL

※ 画像は一例です。
※ 余ったマーキングシールは
お好みで自由にお貼り
ください。



※ 画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。
※ 画像の完成品は無塗装です。



※ 画像の完成品は塗装してあります。

※ 画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を3セット使用しています。
※ 画像の完成品は無塗装です。



M1 ASTRAY

R16 HG 1/144スケールモデル MBF-M1 M1 アストレイ



GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are
under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様のご負担となります。



ナチュラル用OS

連合のモビルスーツ開発に協力したことで、連合採用のOSを入手していたが、これは不完全なものであった。オーブはレッドフレームと呼ばれるMBF-P03 アストレイのパイロットでありナチュラルのジャンク屋ロウ・ギールに接触し(潜入任務をジュリが担当した)さらなる技術回収を進める。最終的にオーブに寄港したアークエンジェルのキラ・ヤマトがナチュラル用OSを完成させる。

71式ビームライフル

本機の主兵器。連合から得た技術により開発されたモビルスーツ用の携帯ビーム砲。連合で採用されたものより軽量化されているが、基本性能は同等である。対モビルスーツ戦においてビーム兵器の重要性は高く、M1 アストレイが実戦投入された段階で、ビーム兵器の配備の遅れていたザフトに対し大きなアドバンテージを得ることになった。

バックバック

通常のモビルスーツが採用している背部スラストスターに、飛行能力を付加させている。もともと高い運動性能を持つ本機は、この装備により中距離の移動に対し、輸送機などの支援を必要としない。設計には、連合のストライクに採用されたエールストライカーが参考にされた。

イーゲルシュテルン

75mm対空自動バルカン砲塔システム。ミサイルなどの実体弾兵器を撃ち落とすために使用される。装甲の脆弱な本機にとって、武器であると同時に、防御として重要な役割を果たす装備である。



M1 アストレイ

型式番号：MBF-M1
全高：17.53m
重量：53.5t
武装：71式ビームライフル
70式ビームサーベル
イーゲルシュテルン
(75mm対空自動バルカン砲塔システム)
対艦刀



M1 アストレイ

戦いに対し中立を貫いていたオーブ連合首長国が、自国の防衛のために開発した量産モビルスーツ。モルゲンレーテ社が、地球連合のモビルスーツ開発に協力することで得られた技術を投下している。コロニー・ベリオポリスで開発されたP0シリーズをベースとし、地上においてその量産機としてM1 アストレイは完成した。バックバックは短時間の飛行を可能とするフライトユニットが装着されている。これは自国国土内を輸送機を使わずに短時間で展開するために採用されたものである。後により飛行性能を強化したEF-24R シュライクも開発されている。また、宇宙用に特化したバリエーション機であるM1Aも少数ながら生産された。武装は連合から入手したビーム兵器の技術を採用したことで、非常に強力な破壊力を得ている。一方でPS(フェイズシフト)装甲の技術を得られなかったため、軽量の発泡金属を採用し、敵からの攻撃に耐えるのではなく、機動性により回避することが基本運用となる。

MECHANISM



70式ビームサーベル

バックバックに二本装備された近接戦兵器。引き抜くとビームによる刃が出現する。ビームライフルより早い段階で実用化に成功し、段階的アップグレードを重ねられた。その結果として、運用に応じてビームの刃の出力・形状など、自由なカスタマイズが可能となった。この点では連合で採用されたものより優れている。

対艦刀

全長9.1mの実体剣。統合兵器ストライカーバックであるI.W.S.P.に採用されている近接戦兵器のひとつ。I.W.S.P.は、もともとはP.M.P社が開発したものであったが、その技術を得たオーブがストライクルージュの装備として採用。試験運用を重ねる中で、実体剣を持たないM1 アストレイに、本装備のみが採用されることになり、腰に専用マウントを追加装備された。本装備を使用した格闘戦術については「拳神」の名で知られるバリー・ホーが組み上げている。

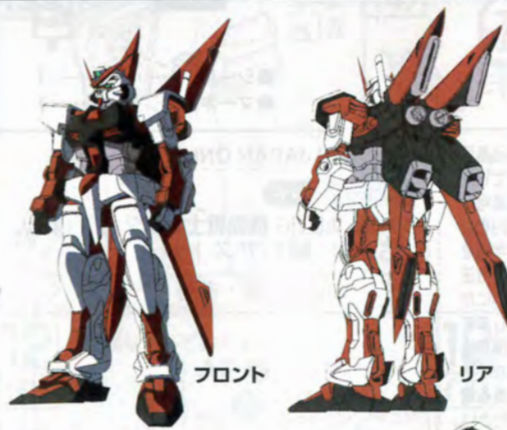
シールド

標準装備である耐ビームコーティング仕様のシールド。プロトタイプに位置付けられる機体(P0シリーズやデュエル、ストライクなどのG兵器)のものと同規格である。

MATERIAL

アサギ・コードウェル(機体番号211) マコラ・ラバツ(機体番号212) ジュリ・ウー・ニエン(機体番号213)

オーブ軍所属。ナチュラルのパイロットとして、オーブでのモビルスーツ開発に初期段階から携わる。女性三人組でチームを組み、数々の作戦行動に当たった。三人の中ではアサギ・コードウェルがリーダー的な役割を担うが、階級などに差があるわけではなく、単純に性格によるものである。三人は、中立であったオーブが世界的な戦火に飲み込まれ戦う事を選べなくなり、最前線で戦うことになる。激戦の末、地上のオーブが崩壊してしまった後は、艦載クサナギに乗艦。宇宙に上がって戦いを続けた。その間も彼女たちの搭乗機は自らが開発に携わったM1 アストレイであった。地球軍とザフトの事実上の最終決戦である「第二次ヤキン・ドゥー工攻防戦」において、三人とも戦死している。M1 アストレイの誕生から、終戦まで同機と共に戦い抜いた彼女たちが、戦争終結に対して果たした役割は大きくはない。だが、その小さな戦果の積み重ねが、大きな歴史を紡ぎ出したのであり、その意味で彼女たちの存在は貴重なものであったと言えるだろう。



フロント

リア



71式ビームライフル



シールド



illustrated by Morishita Naohika

注意
必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがったところがありますが、気を付けて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

パーツリスト

シールの番号
向きに注意して取り付ける
部品を数値の個数作ります
反対側に取り付けるパーツ
後に組み立てます
どちらかを選んで取り付ける

(×印は使用しないパーツです。)

A1パーツ (スチロール樹脂: PS)

A2パーツ (スチロール樹脂: PS)

B1パーツ (スチロール樹脂: PS)

B2パーツ (スチロール樹脂: PS)

Cパーツ (スチロール樹脂: PS)

Dパーツ (スチロール樹脂: PS)

SB6パーツ (スチロール樹脂: PS)

PC-001A (ポリエチレン: PE)

- シール.....1
- マーキングシール.....1

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

1 (1) C11 B17

1 (2) B19 PC4

1 (3) PC6 (後に組む) C12 D3

PC14 C7 (後に組む)

(両側に貼るシール)

1 (4) C8

※きれいに切り取ります。

2 (1) B128 A14

2 (2) A122 A123

2 (3) B129

(両側に貼るシール)

3 (1) B121 PC1 A112

3 (2) B122 PC1 A113

3 (3) PC15 (B212) B112

3 (4) B114 (B214) PC5

3 (5) B110 (B210) (B211) B111

3 (6) A17 A14

ラインがある方 (向きに注意)

(後に組む) (B215) B115

(2個作る) (3) (4) (5)

3 (7) C18 A18

4 (1) A27 A24

ラインがある方 (向きに注意)

4 (2) C17 A19 C19 A29

(選んで取り付ける)

5 2 で作った頭部

1 で作ったボディ

3 で作った右腕

4 で作った左腕

6 (1) B113 (B213) PC3 C6

6 (2) (B26) B16 B17 (B27) PC7

6 (3) PC11 B14 (B24)

6 (4) (B29) (後に組む) B19 (B28) B18 PC1 B12 (B22)

